

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5000552号
(P5000552)

(45) 発行日 平成24年8月15日 (2012. 8. 15)

(24) 登録日 平成24年5月25日 (2012. 5. 25)

(51) Int. Cl.

H04M 1/00 (2006.01)

F I

H04M 1/00

V

請求項の数 7 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2008-57649 (P2008-57649)
 (22) 出願日 平成20年3月7日 (2008. 3. 7)
 (65) 公開番号 特開2009-218673 (P2009-218673A)
 (43) 公開日 平成21年9月24日 (2009. 9. 24)
 審査請求日 平成23年2月15日 (2011. 2. 15)

(73) 特許権者 000004237
 日本電気株式会社
 東京都港区芝五丁目7番1号
 (73) 特許権者 000232254
 日本電気通信システム株式会社
 東京都港区三田1丁目4番28号
 (74) 代理人 100109313
 弁理士 机 昌彦
 (74) 代理人 100124154
 弁理士 下坂 直樹
 (72) 発明者 大江 靖之
 東京都港区三田一丁目4番28号 日本電
 気通信システム株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話充電器、携帯電話端末、コンテンツ保存システム、制御方法、プログラム及び記録媒体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯電話機の電池へ一定の電力を供給して充電する充電手段と、
前記携帯電話機の記憶部に残量不足により収容できない場合、このコンテンツを保存す
る記録手段と、

外部機器と無線通信を行う通信手段と、
 前記記録手段に記録されたコンテンツを、前記通信手段により出力する出力手段と、
 前記無線通信手段によりコンテンツを前記記録手段に入力する入力手段と、を備えるこ
 とを特徴とする携帯電話充電器。

【請求項 2】

前記外部機器は、携帯電話機、若しくはノ及び家電レコーダーであることを特徴とする
 請求項 1 記載の携帯電話充電器。

【請求項 3】

携帯電話機で動作するアプリケーションにより、携帯電話機の画面とキーを使用して、
請求項 1 記載の携帯電話充電器の記録手段に保存されたコンテンツを操作する操作手段を
備えることを特徴とする携帯電話端末。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 記載の携帯電話充電器と、請求項 3 記載の携帯電話端末とを備えるこ
 とを特徴とするコンテンツ保存システム。

【請求項 5】

10

20

携帯電話機の電池へ一定の電力を供給して充電する充電部と、前記携帯電話機の記憶部に残量不足により収容できない場合、このコンテンツを保存する記憶部と、外部機器と無線通信を行う通信部とを備える携帯電話充電器の制御方法であって、

前記通信部を介して受信したコンテンツを前記記憶部に保存、若しくはノ及び前記記憶部に保存されたコンテンツを前記通信部を介して出力するステップを備えることを特徴とする制御方法。

【請求項 6】

携帯電話機の電池へ一定の電力を供給して充電する充電部と、前記携帯電話機の記憶部に残量不足により収容できない場合、このコンテンツを保存する記憶部と、外部機器と無線通信を行う通信部とを備える携帯電話充電器の制御プログラムであって、

前記通信部を介して受信したコンテンツを前記記憶部に保存、若しくはノ及び前記記憶部に保存されたコンテンツを前記通信部を介して出力する処理ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする制御プログラム。

【請求項 7】

前記請求項 6 記載の制御プログラムの処理を記録するコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、携帯電話充電器、携帯電話端末、コンテンツ保存システム、制御方法、プログラム及び記録媒体に関し、特に記録手段を備える携帯電話充電器、携帯電話端末、コンテンツ保存システム、制御方法、プログラム及び記録媒体に関する。

【背景技術】

【0002】

昨今普及している携帯電話機は、軽量化が求められ、メモリ（記憶部とも称す）の容量を大容量にすることは難しかった。また、メモリに関する発明では、持ち歩く携帯電話機はいつ紛失等するかわからないため、データのバックアップについて手軽に行うことができる技術が提案されている（特許文献 1、2 参照）。また、携帯電話機のデータの入れ替えを行う方法が提案されている（特許文献 3 参照）。

【特許文献 1】特開 2002 - 237876 号公報

【特許文献 2】特開 2002 - 281126 号公報

【特許文献 3】特開 2004 - 336421 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、携帯電話機向けに通信によりコンテンツを配信するコンテンツ配信システムにおいて、コンテンツ配信側が受信側携帯電話端末の記憶部残量を特に考慮しないため、受信側携帯電話端末が受信したコンテンツを記憶部の残量に収容できないという問題が考えられる。

【0004】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、携帯電話機が備える記憶部の残量に収容できないコンテンツを充電器が受信、格納することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明に係る第 1 の携帯電話充電器は、携帯電話機の電池へ一定の電力を供給して充電する充電手段と、前記携帯電話機の記憶部に残量不足により収容できない場合、このコンテンツを保存する記録手段と、外部機器と無線通信を行う通信手段と、前記記録手段に記録されたコンテンツを、前記通信手段により出力する出力手段と、前記無線通信手段によりコンテンツを前記記録手段に入力する入力手段と、を備えることを特徴とする。

【0006】

本発明に係る第１の携帯電話端末は、携帯電話機で動作するアプリケーションにより、携帯電話機の画面とキーを使用して、前記第１の携帯電話充電器の記録手段に保存されたコンテンツを操作する操作手段を備えることを特徴とする。

【０００７】

本発明に係る第１のコンテンツ保存システムは、上記第１の携帯電話充電器と、上記第１の携帯電話端末とを備えることを特徴とする。

【０００８】

本発明に係る第１の制御方法は、携帯電話機の電池へ一定の電力を供給して充電する充電部と、前記携帯電話機の記憶部に残量不足により収容できない場合、このコンテンツを保存する記憶部と、外部機器と無線通信を行う通信部とを備える携帯電話充電器の制御方法であって、前記通信部を介して受信したコンテンツを前記記憶部に保存、若しくは／及び前記記憶部に保存されたコンテンツを前記通信部を介して出力するステップを備えることを特徴とする。

10

【０００９】

本発明に係る第１の制御プログラムは、携帯電話機の電池へ一定の電力を供給して充電する充電部と、前記携帯電話機の記憶部に残量不足により収容できない場合、このコンテンツを保存する記憶部と、外部機器と無線通信を行う通信部とを備える携帯電話充電器の制御プログラムであって、前記通信部を介して受信したコンテンツを前記記憶部に保存、若しくは／及び前記記憶部に保存されたコンテンツを前記通信部を介して出力する処理ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする。

20

【００１０】

本発明に係る第１の記録媒体は、本発明の第１の制御プログラムの処理を記録するコンピュータ読取り可能な記録媒体である。

【発明の効果】

【００１１】

本発明によれば、携帯電話機が備える記憶部の残量に収容できないコンテンツを充電器が受信、格納することが出来る。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１２】

以下に、本発明の実施形態について図面を用いて詳細に説明する。なお、以下に述べる実施形態は、本発明の好適な実施形態であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

30

【００１３】

本発明の実施形態に係る携帯電話機、携帯電話充電器は、近距離の無線通信機能（図１の１４、２２）と、携帯電話充電器に記憶部（図１の２３）と、家電レコーダーに近距離の無線通信機能（図１の３２）を備える構成としてある。

【００１４】

具体的には、携帯電話機１０は、制御部１１、携帯電話用無線通信を行う携帯電話無線部１２、コンテンツ（テキスト、画像、動画、アプリケーション、アプリケーション用データなど）を保存する記憶部１３、携帯電話充電器２０の制御部２１と通信を行うための近距離用無線部１４、携帯電話充電器２０から充電を受けるための充電部１５とを備える。

40

【００１５】

携帯電話充電器２０は、制御部２１、携帯電話機１０の制御部１１と通信を行う近距離用無線部２２、コンテンツ（テキスト、画像、動画、アプリケーション、アプリケーション用データなど）を保存する記憶部２３、携帯電話機１０への充電を行う充電部２４とを備え、家電レコーダー３０は近距離無線通信部３２を備える構成である。

【００１６】

本実施形態によるコンテンツの格納方法は、携帯電話機外部へコンテンツを格納する方

50

法を提供すると共に、外部のコンテンツ格納機器と携帯電話機の間でコンテンツを転送する方法を供給するものである。

【 0 0 1 7 】

本実施形態に係る携帯電話機に実装されるアプリケーションにより、携帯電話機の画面とキーを使用し、キー操作により携帯電話機の記憶部と携帯電話充電器の記憶部や、家電レコーダー記憶部のコンテンツの転送が無線通信で行われる。

【 0 0 1 8 】

図 1 は、本実施形態のブロック構成図である。図 1 に示すブロック図において、10 は携帯電話機、20 は無線通信機能および情報記憶機能付き携帯電話充電器（充電器とも称す）、30 は無線通信機能と記憶機能を持った機器であるが、本実施形態においては家電レコーダーとして説明する。

10

【 0 0 1 9 】

携帯電話機 10 は、携帯通話や、コンテンツ（メール、画像、動画、テキスト、音楽ファイル、アプリケーションやそのデータなど）の送受信を行う携帯電話無線部 12、コンテンツなどを記憶する記憶部 13、充電器と無線通信を行う近距離用無線部 14、充電器 20 からの充電を受ける充電部 15、それら全てを制御する制御部 11 から構成される。

【 0 0 2 0 】

充電器 20 は、携帯電話機と無線通信を行う近距離用無線部 22、コンテンツを記憶する記憶部 23、携帯電話機へ充電を行う充電部 24、それら全てを制御する制御部 21 から構成される。

20

【 0 0 2 1 】

家電レコーダー 30 は、一般的な家電レコーダーの機能（制御部 31、記録手段としての記憶部 33 を含む）の外、無線通信を行う近距離用無線部 32 から構成される。

【 0 0 2 2 】

図 2 は、受信コンテンツを携帯電話機 10 の記憶部 13、または充電器 20 の記憶部 23 へ保存する際の動作処理を示すフローチャートである。

【 0 0 2 3 】

携帯電話機 10 の制御部 11 は、携帯電話無線部 12 を介してコンテンツを受信する際、または、コンテンツの受信中に（図 2 のステップ A1）記憶部 13 の残量を確認し（ステップ A2）、記憶部 13 の残量が不足すると判断した場合（ステップ A2 / No）、近距離無線部 22 を介して、充電器 20 の記憶部 23 への受信コンテンツの転送を行う（ステップ A6 ~ A11）。更に充電器 20 への設定により、受信コンテンツを家電レコーダー 30 へも転送可能とする。

30

【 0 0 2 4 】

携帯電話無線部 12 がコンテンツの受信を制御部 11 へ通知する。制御部 11 は、記憶部 13 の残量を確認し、十分な残量がある場合は（ステップ A2 / Yes）、受信コンテンツを記憶部 13 へ保存する（ステップ A3）。記憶部 13 の残量が十分でない場合は、上述したように、制御部 11 は近距離用無線部 14 を介して、充電器 20 へ無線通信を行い、充電器 20 の記憶部 23 へ受信コンテンツを転送し、保存を指示する（ステップ A6 ~ A11）。充電器 20 の制御部 21 は設定を確認し、受信コンテンツを記憶部 23 へ保存するか、無線通信により家電レコーダー 30 へ転送し保存を指示するか判断する。

40

【 0 0 2 5 】

記憶部 23 への保存設定である場合、記憶部 23 の残量を確認し、十分な残量がある場合は、受信コンテンツを記憶部 23 へ保存する。記憶部 23 の残量が十分でない場合、および、家電レコーダーへ転送する設定である場合、制御部 21 は近距離用無線部 22 を介して、家電レコーダー 30 へ無線通信を行い、家電レコーダー 30 の記憶部 33 へ受信コンテンツを転送し、保存を指示する。

【 0 0 2 6 】

図 3 は、携帯電話機 10 と充電器 20、家電レコーダー 30 の間で、コンテンツの移動を行う際の動作処理を示すフローチャートである。

50

【 0 0 2 7 】

ユーザは、携帯電話機 1 0 に内蔵されたコンテンツ管理用のアプリケーションを起動する。携帯電話機 1 0 のキー操作により移動元（携帯電話機 1 0、充電器 2 0、または家電レコーダー 3 0）を選択する（図 3 のステップ B 1、B 2）。移動元として携帯電話機 1 0 を選択した場合、記憶部 1 3 のコンテンツが一覧で表示される（ステップ B 3）。移動元として充電器 2 0 を選択した場合は、携帯電話機 1 0 と充電器 2 0 が無線通信を行い、充電器 2 0 の記憶部 2 3 のコンテンツ一覧が表示される（ステップ B 9）。移動元として家電レコーダー 3 0 を選択した場合は、携帯電話機 1 0、充電器 2 0、家電レコーダー 3 0 が無線通信を行い、家電レコーダー 3 0 の記憶部 3 3 のコンテンツ一覧が表示される（ステップ B 1 5）。

10

【 0 0 2 8 】

移動したいコンテンツを選択後、移動先（携帯電話機 1 0、充電器 2 0、または家電レコーダー 3 0）を選択し、実行を指示することによりコンテンツが移動される（ステップ B 4 ~ B 8、B 1 0 ~ B 1 4、B 1 6 ~ B 2 0）。

【 0 0 2 9 】

上記実施形態により、携帯電話機の制御部が記憶部の残量を考慮して受信コンテンツを充電器側の記憶部へ転送保存するため、携帯電話機の記憶部残量以上のコンテンツが配信されても受信可能となる。

【 0 0 3 0 】

また、携帯電話機と充電器を無線で通信可能としたため、携帯電話機と充電器が接続された充電中でなくても携帯電話機の記憶部と充電器の記憶部で保存するコンテンツを入れ替える事が可能になる。

20

【 0 0 3 1 】

また、携帯電話の画面とキーを使用し、無線機能でコンテンツの操作を行うため、充電器側に表示部や操作パネルを設ける必要が無く、充電器を小型で実現出来る。

【 0 0 3 2 】

本発明の他の実施形態について説明する。充電器 2 0 の記憶部 2 3 は、メモリカードなど、取り外して交換可能な記憶媒体を利用しても良い。

【 0 0 3 3 】

また、携帯電話機 1 0 にワンセグ放送受信機能がある場合、充電器 2 0 の記憶部 2 3 や、家電レコーダー 3 0 の記憶部 3 0 へ保存するコンテンツは、ワンセグ放送の内容とすることも可能である。

30

【 0 0 3 4 】

なお、各図のフローチャートに示す処理を、CPU が実行するためのプログラムは本発明によるプログラムを構成する。このプログラムを記録する記録媒体としては、半導体記憶部や光学的及び / 又は磁気的な記憶部等を用いることができる。このようなプログラム及び記録媒体を、前述した各実施形態とは異なる構成のシステム等で用い、その CPU で上記プログラムを実行させることにより、本発明と実質的に同じ効果を得ることができる。

【 0 0 3 5 】

以上、本発明を好適な実施形態に基づき具体的に説明したが、本発明は上記のものに限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることは言うまでもない。

40

【図面の簡単な説明】

【 0 0 3 6 】

【図 1】本発明の実施形態に係る携帯電話機、携帯電話充電器、家電レコーダーのブロック構成図である。

【図 2】本発明の実施形態に係る受信コンテンツを携帯電話機の記憶部、または充電器の記憶部へ保存する際の動作処理を示すフローチャートである。

【図 3】本発明の実施形態に係る携帯電話機と携帯電話充電器、家電レコーダーの間で、

50

コンテンツの移動を行う際の動作処理を示すチャートである。

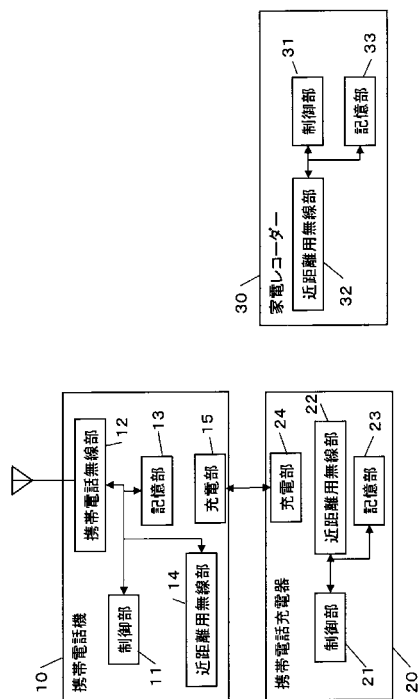
【符号の説明】

【 0 0 3 7 】

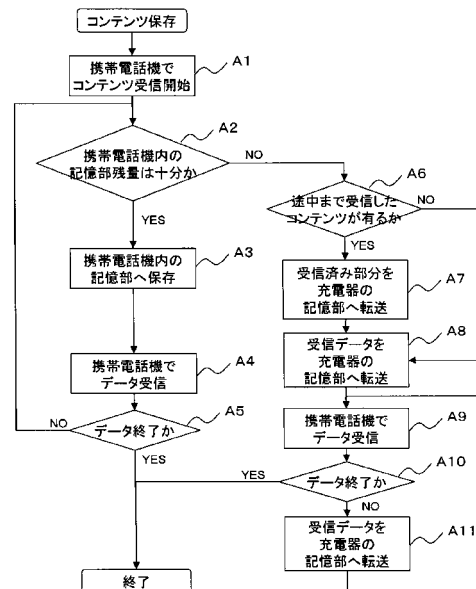
- 1 0 携帯電話機
- 1 1、2 1、3 1 制御部
- 1 2 携帯電話無線部
- 1 3、2 3、3 3 記憶部
- 1 4、2 2、3 2 近距離用無線部
- 1 5、2 4 充電部
- 2 0 携帯電話充電器
- 3 0 家電レコーダー

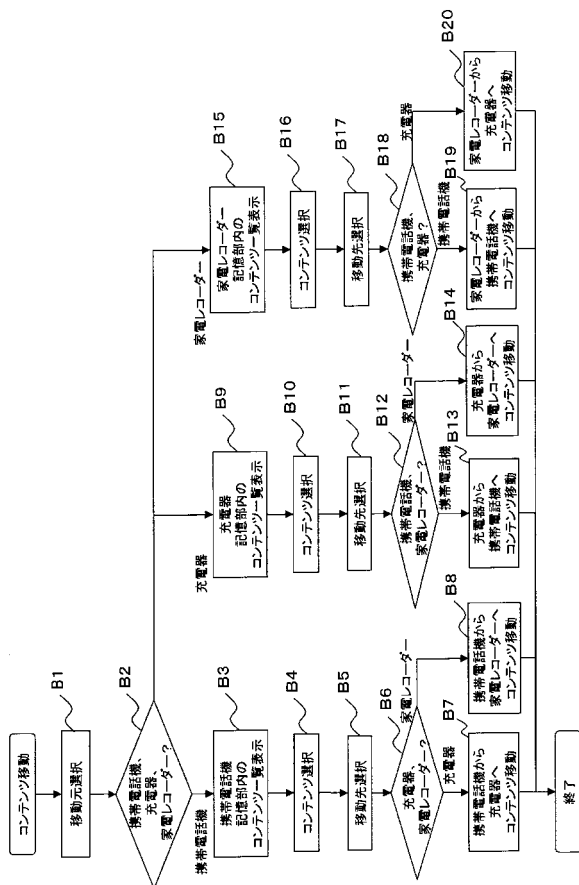
10

【図 1】



【図 2】





フロントページの続き

(72)発明者 鎌田 敬温
東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

審査官 小林 勝広

(56)参考文献 特開2005-159905(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
H04M 1/00 - 1/82